

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	家族が承知しているセンサーマット等の使用については ①同意書や介護計画に載せる ②定期的にモニタリングを行いながら、センサーマット等を外せるケアを目指す。	①センサーマット等の使用の必要性をカンファレンス等で話し合い要否を決定 ②家族にその結果を伝え、介護計画に記載する等同意を得る。 ③定期的にモニタリングを行い外せるかを判定する。 上記の手順にもとづいて 取り組みを行っている。	7ヶ月 (H29/8 ～ H30/3)
2	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日頃から職員誰もが避難誘導を身につけ不足の事態に備えるために、年2回の防火訓練以外に事業所独自の災害訓練を実施する。	①年2回の防火訓練には全員が参加できないので、全員が集まる月次会議で、通報消火避難訓練の詳細内容を伝え、いかに行動するかシミュレーション実施。 ②屋外に出る機会(外気浴、日光浴など)に併せて、ミニ避難訓練を行い避難誘導手順を身につける。 上記の訓練を実施している。	7ヶ月 (H29/8 ～ H30/3)
3	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の希望が出れば、前日に入浴した人であっても、入浴者は毎日いるので今日も入れると毎日でも入浴できるように支援してゆく。	①前日入浴したしないにかかわらず、利用者全員に入浴できることを声かけて伝える。 ②入浴希望者には、入浴時間やその順番を調整した後入浴支援をする。 上記入浴支援を実施中である	7ヶ月 (H29/8 ～ H30/3)
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。